

京都市立京北病院総合情報システム（給食管理システム）

【1】給食管理システム

この仕様書は、「京都市立京北病院給食調理業務委託」仕様書（別紙1）に記載する給食管理システムについて、当該システムの仕様内容を記載したものである。

機種は、NEC社製Nalish（5.0）である。

【2】食数管理のについて

- ① オーダリングシステムより食事情報に関するオーダを受け取ることができる。
- ② オーダリングシステムより、調乳、注入食のオーダの受け取ることができる。
- ③ 食数の自動集計及び患者の食事箋履歴管理をすることができる。
- ④ 病棟・食種・主食・コメントなどの任意条件を指定し、該当する患者の検索及び結果の作表をすることができる。
- ⑤ 食種別、主食別およびコメント別等の各種食数表を印刷することができる。
- ⑥ 患者別に食事箋履歴管理の問い合わせをすることができる。
- ⑦ 患者別に食事情報をカレンダー形式で表示することができる。
- ⑧ 主食、コメント（2種以上）を朝・昼・夕別に指定することができる。
- ⑨ 共通コメント（10種以上）を指定することができる。
- ⑩ 肥満度計算（標準はBMI方式）をすることができる。
- ⑪ アppe食等のセット入力をするすることができる。
- ⑫ 食札のカラーは食種別に色指定をすることができる。
- ⑬ 選択メニューに対応することができる。
- ⑭ 選択食対象者および選択食日について設定することができる。
- ⑮ 選択食対象患者一覧表と聞き取り表が対象日に自動出力することができる。
- ⑯ 1日／週間単位で選択メニューの選択入力をするすることができる。または、オーダリングシステムより受取ることができる。
- ⑰ 選択情報は、食材の発注、配膳などに反映することができる。
- ⑱ 食事箋の複数の食種を一つの献立食種に統合連携することができる。

【3】献立管理について

- 1 1画面で週間（または旬間）又は1日又は複数食種の献立を一度に作成することができる。
- 2 複数食種の献立を立てる時は登録してある食種で献立を立てたり、任意の食種を選んで献立を立てることができる。

- 3 献立入力画面で該当日該当食種のコメントのある患者とコメント内容を表示することができる
- 4 同一画面で料理と食品を同時表示させて献立作成をすることができる。
- 5 複写機能を有している。サイクルメニューの複写, 行事食の複写, 前回献立の複写, 食種間の複写 (常食を特別食に複写等), 食区分 (朝昼夕)・日数指定の複写をすることができる。
- 6 次のチェック機能を有している。
 - ① 献立作成状況のチェックをすることができる。
 - ② 食糧構成との差 (期間平均も可能) のチェックをすることができる。
 - ③ 基準栄養価との差をチェックすることができる。
 - ④ 使用してはならない食品のチェック (食種別に指定可能) をすることができる。
 - ⑤ 指定期間における料理の重なりチェック
 - ⑥ 材料費の金額表示をすることができる。
 - ⑦ 選択メニュー間の栄養価比較 (朝・昼・夕別) をすることができる。
- 7 作成済み献立の料理・食品を一括変更 (追加・削除) することができる。また, 変更前後の栄養価の比較表示を行い, 栄養価の差も確認することができる。
- 8 間食 (3種以上) の入力をすることができる。
- 9 献立の料理名を変更することができる。
- 10 献立入力しながら新しい料理を登録又は置き換えることができる。
- 11 5訂食品増補版の栄養価を使うことができる。また, 糖尿病と腎臓病の交換表を作成することができる。
- 12 充足率等のグラフ表示をすることができる。
- 13 仕込指示の一部を献立入力で指定することができる。
- 14 日付を指定するとあらかじめ登録してある該当月の季節・行事等の一覧を表示することができる。
- 15 料理コードの検索条件として次の機能を有している。
 - ① カナ検索をすることができる。
 - ② 文字検索をすることができる。
 - ③ 料理区分検索 (料理分類, 調理区分, 素材区分, 風味区分, 季節区分, 成分値) をすることができる。
 - ④ 最大5種類の条件を指定しての絞込み検索をすることができる。
- 16 料理コードは全量を基準に1/2量, 1/3量を入力することによって別コードで登録することができる。
- 17 料理別食品別の栄養価を表示することができる。また, 表示する栄養価は自由に選択することが可能で, 表示順を指定することができる。
- 18 献立作成画面のウィンドウサイズを自由に変更することができる。

- 19 献立作成画面の文字サイズ，フォント，太きを変更することができる。
- 22 料理マスタの内容を変更しても献立の内容は変更されない機能を有している。
- 22 病棟用の献立表は標準で，選択食や，写真入が用意されている。また，E X C E Lに出力することができる

【4】材料管理について

- ① 発注・仕入・在庫を一連管理することができる。
- ② 患者（入所者）給食，職員食，デイケア食等で別管理をすることができる。
- ③ 予定人数を入力して，材料毎に使用量を自動計算することができる。
- ④ 即日消費品の発注量および発注単位を自動変換することができる。
- ⑤ 発注量・発注単位等の修正入力を行うことができる。
- ⑥ 発注時の規格を任意に設定することができ，規格の設定により分離発注（きざみ食品等）を行うことができる。
- ⑦ 発注業者の一括変更を行うことができる。
- ⑧ 発注入力データの中で発注に必要な情報を自動的にマスタに取り込むことができる。
- ⑨ 仕入入力は，発注内容を初期表示し変更部分の修正のみで対応することができる。
- ⑩ 在庫元帳を画面で確認し，必要に応じて払出数の修正を行うことができる。
- ⑪ 払出数を自動調整することができる。
- ⑫ 棚卸を行うことができる。
- ⑬ 消費日計表，月計表の作成ができる

【5】統計管理について

- ① 基準給食に対応した各種報告書の作成を行うことができる。
- ② 給与栄養量表等の中身がE X C E Lに出力することができ，グラフまで自動で生成することができる。

【6】個人食数管理について

- ① 入院患者外（職員食・デイケア食・外来透析食等任意）の個人管理を行うことができる。
- ② 個人別に食事パターンを曜日で設定し，自動的にカレンダー形式に展開することができる。
- ③ 食事に変更があれば，カレンダー形式の画面で直接変更（追加・変更・中止）を行うことができる。
- ④ ここでの食数を発注に結びつけることができる。

【7】栄養指導システムとの連携について

- ① 栄養指導の入院患者の喫食調査としてデータを渡すことができる。
- ② 栄養指導の提案献立用として献立データを利用することができる。

【8】帳票類関係について

1. 食数管理については、下記①～⑱の帳票を出力することができる。

- ① プルーフリスト
- ② 食事箋変更患者一覧表
- ③ 食札
- ④ 配膳表
- ⑤ 食種別病棟別食数表
- ⑥ 主食別病棟別食数表
- ⑦ 食種別主食別食数表
- ⑧ 食種別コメント集計表
- ⑨ 患者情報検索一覧表
- ⑩ 患者情報一覧表
- ⑪ 誕生日一覧表
- ⑫ 日別実施食数一覧表
- ⑬ 患者給食台帳
- ⑭ 食事箋履歴一覧表
- ⑮ 入院食事情報一覧表
- ⑯ 選択メニュー調査票
- ⑰ 選択メニュー該当患者一覧表
- ⑱ 退院患者リスト
- ⑲ 特別食管理加算一覧表

2. 献立管理については、下記①～⑩の帳票を出力することができる。

- ① 予定配布献立表
- ② 予定実施献立表（栄養価）
- ③ 予定実施献立表（交換表）
- ④ 予定／実施献立表（食種別）
- ⑤ 予定／実施献立表（日別）
- ⑥ 検食簿
- ⑦ 仕分表
- ⑧ 料理別使用材料一覧表
- ⑨ 料理材料合計表

- ⑩ 調理用献立表
- ⑪ 週間献立表

3. 材料管理については、下記①～⑪の帳票を出力することができる。

- ① 使用材料一覧表
- ② 発注予定表
- ③ 発注書
- ④ 給食材料日計表
- ⑤ 給食材料月計表
- ⑥ 業者別仕入一覧表
- ⑦ 業者別仕入明細表
- ⑧ 棚卸し入力表
- ⑨ 棚卸し差異一覧表
- ⑩ 在庫一覧表
- ⑪ 在庫元帳

4. 統計管理については、下記①～⑥の帳票を出力することができる。

- ① 常食患者年齢構成表及び荷重平均栄養所要量
- ② 食糧構成表（食種指定）
- ③ 給与食品一覧表（食種指定）
- ④ 病院給食食品量表
- ⑤ 給与栄養量表（食種指定）
- ⑥ 食品群別荷重平均成分表（食種指定）

5. 個人管理については、下記①～⑤の帳票を出力することができる。

- ① 配膳表（個人管理）
- ② 食種別・主食別食数（個人管理）
- ③ 食種別コメント表（個人管理）
- ④ 個人給食料算定一覧表
- ⑤ 食事申し込み一覧表